

お知らせ

平成23年 3月15日

江の川水系フラッシュ放流計画の変更について

(灰塚ダム単独でのフラッシュ放流に変更)

平成23年3月23日(水)に実施する事としていました、土師ダムと灰塚ダムの連携フラッシュ放流については、灰塚ダムのみの単独実施とすることに致しました。

土師ダムについては、ダムに貯留した水を利用して発電を行っており、3月11日に発生した東北関東大震災による関東地方、東北地方の電力不足への対応に配慮し中止したものです。

(前回の「お知らせ」は、3月9日です。)

《フラッシュ放流について》

フラッシュ放流は、川の中にある石の表面を洗い流して、アユが好む新鮮なコケが生える環境をつくりだすなどの河川環境保全を目的とした放流です。

土師ダムの役割

■洪水調節

洪水調節とはダムに水を溜めて大量の水が川に流れすぎないように調節することです。

土師ダムでは、ダム地点における計画洪水流量1,900m³/sのうち1,100m³/sの調節を行い、ダム下流の水害を軽減します。



■既得用水の安定化、河川環境の保全

渇水など河川の流量が少ない場合には、ダムから貯水池の水を放流して河川に必要な流量を確保します。これにより、ダム下流の用水からの取水が安定するとともに、動植物の生息環境が確保され、河川環境の保全が図れます。



■都市用水の供給、発電

水資源の広域かつ多目的な利用を意図し、300,000m³/日を太田川に流城変更し、広島市周辺地域、島しょ部に対する都市用水として供給しています。またこの水と発電用水を利用して最大38,000kW(年間148,000MWh)の発電を行っています。

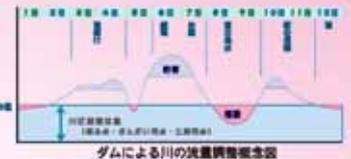


※ 既得放流：河川に流すことによって、河川環境を改善し、その結果として水質改善の効果が期待できること。
※ 1分あたり1秒の流量が最大1,400m³ (約100トン/分、2000kg/秒)程度を調節可能とする土師ダムです。

土師ダム(概元)

日本の河川を流れる水の量は、気象条件による影響が大きいため、川に流れる水の量を安定化させるためには、ダムによる調整が必要です。

土師ダムは、「重力式コンクリートダム」と呼ばれる型式のダムで、一年間を通して水の貯留・放流を繰り返しながら、江の川上流部の安定した流れを保っています。



土師ダムと八千代川の概元図

【お問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局
土師ダム管理所

TEL 0826-52-2455(代表)

所長 野津 保之
管理係長 中土 正之

三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

TEL 0824-44-4360(代表)

支所長 浜田 健一

三次河川国道事務所

TEL 0824-63-4121(代表)

副所長(河川担当)

梶井 芳樹
丹後 浩一

【広報担当】調査設計課長

江の川水系フラッシュ放流

灰塚ダムフラッシュ放流(一時的放流)のお知らせ

実施日:平成23年3月23日



灰塚ダム

江の川支川馬洗川水系上下川(広島県三次市三良坂町)に位置する灰塚ダムは、ダムの下流における河川環境保全を目的にフラッシュ放流(一時的放流)を行います。

この放流により、灰塚ダムの下流の三次市を中心に河川の水位が大きく変化しますので、河川域の利用、および、舟の管理等に充分ご注意ください。

フラッシュ放流によって予想される各地点の水位上量とピーク時間は、下図のようになりますので、ご注意ください。

！フラッシュ放流により普段の河川水位より上昇しますので、ご注意下さい！



フラッシュ放流による各地点の予測水位上昇量(時刻)

(ダムからの放流量については裏面をご覧ください)

おねがい

- ・放流予定日には河川域(川の中、河川敷などの場所)に近づかないようにして下さい。
- ・放流開始前にはサイレンでお知らせしますので、直ちに河川域から離れてください。
(注:サイレンが鳴った直後に水位が急上昇することはありませんが、速やかな移動をお願いします。)
- ・川の状態に異常を感じたら下記までご連絡をお願いします。

国土交通省中国地方整備局

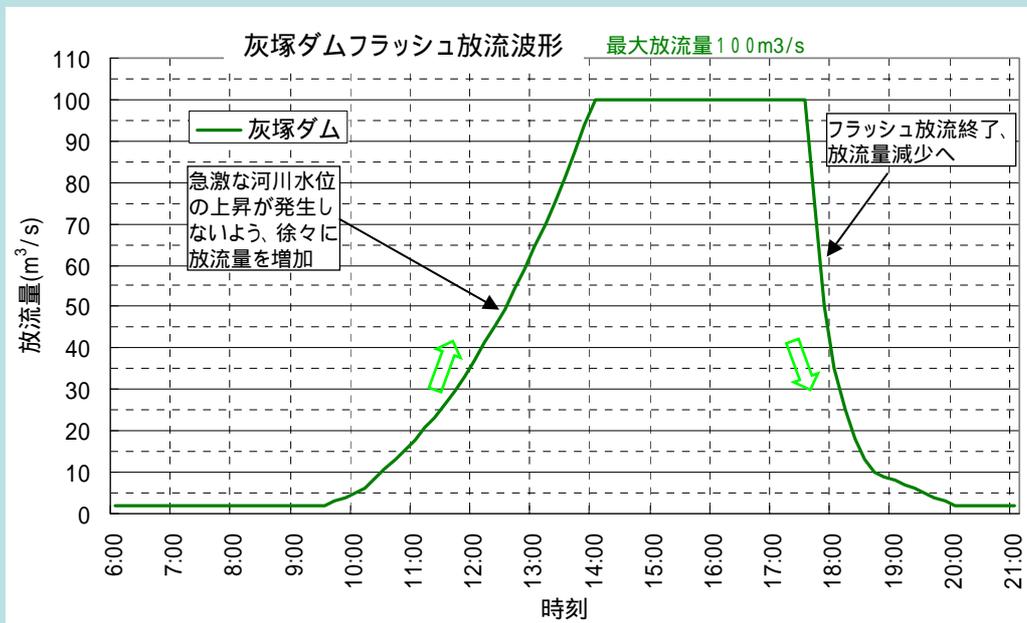
三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所 TEL(0824)44-4360 FAX(0824)44-3544

フラッシュ放流とその目的

灰塚ダムでは、午前9時30分に放流を開始し、午後2時頃ピーク放流量に達し、午後8時頃まで放流を継続する予定です。

放流開始後、急激な河川水位の上昇が発生しないよう徐々に流量を増加させて、最大毎秒100立方メートルの放流量に達し、ピーク継続時間は4時間程度を計画しています。

気象状況や下流河川の流量及びダムの貯水状況により放流波形を変更する場合があります。



今回のフラッシュ放流は、次の目的を持っています。

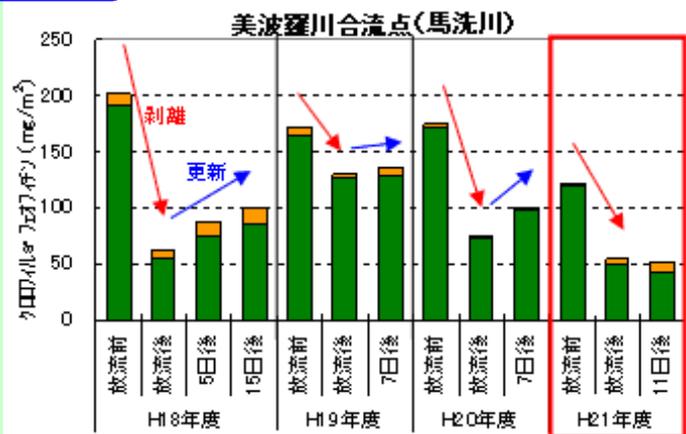
- ・魚類、底生動物の生息環境を改善するために、付着藻類を剥離・更新する。
- ・河床付着泥及び河床材を掃流し、河床に繁茂する水生植物を解消する。
- ・景観障害や悪臭の原因となっている“よどみ水”を除去する。



フラッシュ放流の実績効果

過去に実施したフラッシュ放流の実施効果を付着物質量的変化で表し、右図に示しています。

美波羅川合流地点(馬洗川)等における既往の調査で付着物の減少が確認されています。



過去の放流による付着物調査結果 [美波羅川合流地点]